

たか はし 高橋としえ通信

2021
spring

<http://passy2016.com>

平野事務所: 神戸市西区平野町芝崎331-2
岩岡事務所: 神戸市西区岩岡町岩岡1085-9

市政活動報告書 vol.4



格安PCR検査センターにて

ごあいさつ

年末から年始にかけての新型コロナウイルス感染拡大を受けて、1月14日より兵庫県にも緊急事態宣言が出されました。そして当初は、2月7日までという期限でありましたが、感染抑制が不十分との判断から、3月7日まで期間延長となりましたが、それも2月末で解除されました。さて、今回の報告書の第一番目に、年末から始まった新しい検査体制について取り上げました。新型コロナウイルスから身を守る上で新型コロナの判定検査は重要です。県では新制度として発熱等診療・検査医療機関制度を設け、指定医療機関には空気清浄機やパーティション等の設置費用として上限160万円の補助金を出すとして募集し、神戸市内では240の医院(主に開業医)が呼応し、この制度の指定医となっています。ここで皆様方をお願いしたいのは、発熱等の風邪症状のある場合、院内感染防止の見地から決して直接医院を訪問するのではなく、電話して発熱等の症状を話したうえで、予約をとってその医院を訪問していただきたいのです。神戸市内には約500(皮膚科、眼科等除く)の医院があるので240の医院というと確率的には約2分の1です。まずは近場の3~4の医院をリストアップして電話して発熱等の風邪症状を話してください。そして予約が取れたら訪問し、医師の診断後、検査が必要と判断された場合、原則無料(とはいっても諸費用等の名目で2千円程度は請求されます)で、主に抗原検査をしてくれます。また、症状がない場合は、自費での検査になりますが、神戸市内に格安PCR検査センター(事前払で5,500円)が開設されました。以下に、場合分けして要領をご案内します。

新型コロナウイルスの新しい検査体制

発熱等の風邪症状のある場合



原則無料の行政検査

- 3~4の医院のリストアップ
かかりつけ医等3~4の医院をリストアップ
- 電話して発熱等の症状を話す
必ず電話をして発熱等の風邪症状を話す(直接訪問しないこと)
- 予約して医院を訪問
予約がとれた医院を訪問(時間外訪問や駐車場での待機多し)
- 抗原検査又はPCR検査
医師の判断で抗原検査(またはPCR検査)
- 2千円程度の支払い
原則無料なるも諸費用2千円程度を支払う

注: 判断に困ったら神戸市健康相談窓口へ電話

神戸市健康相談窓口
24時間対応 ☎078-322-6250

症状はないが検査を受けたい場合



花隈に格安PCR検査センターオープン

唾液検査: 事前払 5,500円 検査試薬は国産タカラバイオ製

体験レポート

東京では1,980円、大阪では3,000円の格安PCR検査センターがありますが神戸でもクレジットカード事前払で5,500円の格安PCR検査センターがオープンしました。経営者は香川県の医療機関です。当日予約も現時点では十分可能です。まずはホームページを見て、予約日時をクリックします。そして5,500円をクレジットカードで事前払いをします。(当日の現金払いは6,000円になります)

<https://setolabo.jp/kobe/>



場所は、花隈駅線路高架下のモトコー商店街の南側道路沿いです。お店の外見は、薄汚れた感じで多少がっかりしますが、中に入ることはなくすべて窓を開け閉めして、係員とやり取りしますので、影響は全くありません。

最初に、事前払したクレジットカード払(PAYPAL払)済の携帯画面か、印刷したコピーを係員に提示します。そうすると係員が窓越しに唾液検査の容器を渡してくれますので、それを受け取ります。



係員からは「車で来られているなら車内で唾液を容器に入れてください」と指示されました。写真は一応、かっこだけ外で唾液を容器に入れてますが実際には車内で行っています。そしてその容器を窓越しに係員に渡して終了です。所要時間は5~6分ぐらいでした。

結果は翌日に判明し、陽性の場合は電話とメールがきます。陰性なら、ホームページに自分の番号を確認するだけですが、電話もメールもない時点で陰性とわかります。

私見ですが、簡便な唾液によるPCR検査なのでお勧めです。

PCR検査と抗原検査の違い

新型コロナに感染しているかどうかの検査の代表的なものがPCR検査です。PCR検査は、精度が7~8割程度と言われており、たまに偽陽性が起こります。しかし現状ではこの検査が一番信頼性の高い検査となっています。結果判定については外部検査機関では判定に一日を要しますが、最近では迅速機といって40分~1時間で判定結果が出る判定機が発売されています。また、鼻に棒を突っ込んで検査をする鼻咽頭拭い取り検査と唾液検査と2種類があ

ります。一方、今回の発熱等診療・検査医療機関に指定された病院では、抗原検査が主流になると思われますが、抗原検査は判定まで30分程度で結果がでるというメリットがあります。しかしデメリットもあります。その一つは、精度がPCR検査の7割程度と低い点です。PCR検査自体が7~8割程度の精度であり、その7割ということは全体で5割程度の精度になる点です。また鼻咽頭拭い取り検査しかないため、患者がくしゃみや咳こむことで医療従事者に感染させたり、飛沫感染により院内感染を引き起こすリスクがあります。

01 神戸大学中和抗体医薬品開発への支援について

昨年12月兵庫県は、神戸大学感染症センターの森康子教授のチームが行う新型コロナウイルス感染症に有効な中和抗体医薬の開発へ6千万円の支援を行うと発表しました。一方、今回神戸市及び神戸医療産業都市推進機構も、森康子教授のチームに1千万円の支援をすることになりました。現在、治療薬については、軽症に有効と言われているアビガンの承認が遅れており、唯一、中等症以上でレムデシビルが承認されているだけで、イベルメクチン、アクテムラ、フサンといった

有力候補はあるものの正式承認には至っておりません。その中で、中和抗体薬の開発は大きな期待を抱かせるものとなっています。この神戸大学の中和抗体薬開発に関し、早期に研究開発の成果が挙がるよう、**県市が協調しながら**取り組みを進め、神戸発の新型コロナウイルス感染症治療薬の開発が成功すれば、神戸医療産業都市のプレゼンスを高める絶好の機会であると考えます。



兵庫県と神戸大学感染症センターの共同会見

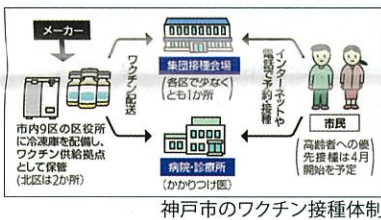
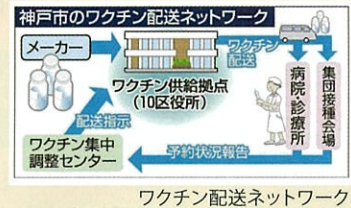
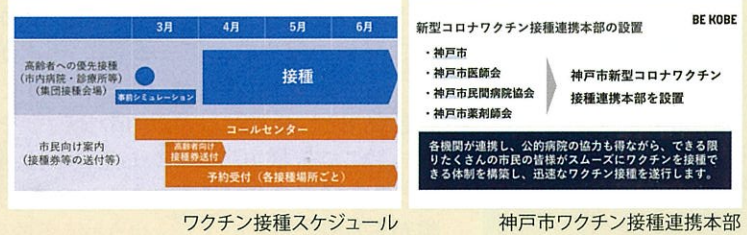
02 新型コロナウイルス ワクチン接種体制について

新型コロナウイルスのワクチン接種についての情報がテレビや新聞等でさかんに取り上げられていますが、新型コロナウイルスの**ワクチン接種による発症予防効果は約95%**と報告されています。今後、市民の皆様は接種を受けていただくことにより、

- 1 たとえ新型コロナウイルスに感染しても、**発症や重症化を防ぐ**ことができる。
- 2 新型コロナウイルスの入院患者が減少することにより**病床のひっ迫を防ぐ**ことができる。
- 3 院内感染を防ぐことができ、新型コロナ以外の**通常医療の正常化**が図ることができる。
- 4 世の中の新型コロナウイルス感染拡大を抑え、**経済活動の復活**につながる。

等の数々のメリットがあります。一方、アナフィラキシーショックやけいれん等の重篤な副反応も懸念されますが、神戸市では、こういった不測の事態に備え、エピペン(アドレナリン注射)を配備する等、各接種場所における副反応への備えについても、万全の体制を整えていくとしています。

神戸市は、まずは優先接種対象の65歳以上の高齢者約43万人への1回目のワクチン接種について、4~6月の約3カ月間で終わることを目指して、神戸市薬剤師会、神戸市医師会、神戸市民間病院協会と合同で新型コロナワクチン接種連携本部を設置しました。これにより、市内約800施設の医療機関でワクチン接種を受け付けるほか、集団接種会場を西区は2ヶ所設ける予定で、より多くの市民が接種を受けられるようにします。第一便のワクチンは、**ファイザー社製ワクチン**(13,650回接種分)で、順次医療従事者等向け優先接種に使用されます。



神戸市では、予約システム開発や供給調整を進め、3月中にワクチン接種券の送付を始めます。まずは65歳以上の高齢者の方々へのワクチン接種が終わると、その後に基礎疾患がある方々、次に高齢者施設の従事者等、その次に60~64歳の方々と続き、一般の方々には、順調に進んでも9月ごろと言われていいます。接種方法は、集団接種とかかりつけ医等での個別接種があります。集団接種は1人あたり約3分を想定し、医師・看護師1チームで1日に100人以上に接種できるようにする予定です。また、かかりつけ医等に予約しての個別接種も可能です。

また市民の方からの問い合わせ先として、3月1日より「神戸市新型コロナワクチン接種コールセンター」が開設されています。

新型コロナワクチン接種コールセンター
☎078-277-3320

受付時間：平日(月~金) / 8時30分~20時00分
休日(土日祝) / 8時30分~17時30分

【新型コロナワクチン接種に関する相談】

- ◎神戸市におけるワクチン接種のスケジュールに関する問い合わせ
- ◎ワクチンの接種を受けるための手続きに関する問い合わせ
- ◎接種券の送付に関する問い合わせ



速報!

JCRファーマ(芦屋市)が神戸市との間で土地の取得契約を結び新型コロナワクチン原液の製造工場を西神南にある工業団地「神戸サイエンスパーク」内に建設すると発表しました。(住所は井吹台東町7-3-15)
新工場は総工費約116億円をかけ、7月に着工し、約2万平方メートルの土地に、平屋建ての製造棟と3階建ての事務棟を建設する予定です。完成予定は令和4年10月に完成の見通し。同社は英製薬大手アストラゼネカから新型コロナワクチンの原液製造を受託しておりアストラゼネカワクチンの工場となります。



JCRファーマが神戸市西区に建設予定の工場

03 アイソレーター導入が決まりました



10月9日委員会でアイソレーターの導入を訴える



救急車搬送時の実際のアイソレーター

アイソレーターは、救急車搬送時の患者を運ぶ密閉式カプセルで、内部は常に陰圧に保たれ、内部の空気はフィルターを通して外部に排気されます。この機能により、新型コロナウイルスや病原菌の外部への拡散を防ぐことができ、同乗者や救急隊員が感染の危険なく、安全な状態で傷病者を搬送することが可能となります。昨年10月9日の決算特別委員会でアイソレーターの必要性を訴えましたが、**今回令和3年度の新年度予算でアイソレーターを導入することが決まりました。**

10月9日 決算特別委員会質疑

◆高橋としえ

救急車の同乗者や、救急隊への新型コロナウィルスの感染予防徹底のため、各区の救急車に陰圧式患者搬送器具「アイソレーター」を導入、配備するべきと考えるが当局の所見をお伺いする。

◆塩谷消防局救急担当部長

救急隊の感染予防については、消防庁通知等に基づき、適切に対応しており、現在のところ救急搬送に伴う隊員への感染は発生していない。アイソレーターは感染者と救急隊員を完全に隔離して搬送する機器であり、他の消防本部においても導入実績がある。神戸市においても、国や研究機関等における最新の知見や他都市の状況等から十分に情報収集を行い、アイソレーター機器の導入も検討したい。

04 産官学医で光免疫療法を推進

2月10日、神戸市、楽天メディカルジャパン、神戸大学の3者で新たなガン治療の研究開発に関する連携・協働協定が締結され、ガンに対する第5の治療法として

期待される「光免疫療法」について、産官学医で連携を進めていくことが発表されました。

この光免疫療法は、西宮市出身でアメリカ国立ガン研究所の小林久隆主任研究員(灘中高、京大医卒)が開発した画期的なガン治療法です。小林医師はアメリカでこの療法を開発し、8年前のオバマ大統領演説で、「これからアメリカで画期的なガン治療が始まる。」とオバマ大統領に言わしめた革新的なガン治療法です。

この療法では、ガンの抗体の入ったRM1929という薬剤を静脈注射し、しばらくしてガンの部分に赤外線を照射すると、数分でガン組織が消滅するという画期的な治療方法です。数年

前、楽天の三木谷社長がお父様で元神戸大学経済学部の教授でいらした三木谷良一(みきたに りょういち)さんのガンを何とか直す治療法がないかと探しておられ、この治療法に行き着いたのですが、間に合わずお父様の三木谷良一さんは亡くられました。しかしこの光免疫療法に感動した三木谷社長は、楽天メディカル社を設立して約140億円を出資し小林久隆さんを応援することにし、小林さんのほうも、薬剤のネーミングをお父様の三木谷良一さんの頭文字、RとMをとり、また生まれた年が1929年でしたので、RM1929とされたそうです。

そのRM1929と治療機械が無事昨年9月に**国の正式承認**を得ました。

そして、RM1929はアキラルックスという新しい名前になりました。当面は首から上の頭頸部のガンに使われるようです。

また12月には**公的医療保険の適用**も決まりました。

すでに未来のノーベル賞候補ともいわれているこの光免疫療法を神戸市、楽天メディカルジャパン、神戸大学がタッグを組んで本格的な実用化に向け強力に推進していくことで、市民の皆様が先進的なガン治療を受診できる早期な体制構築が期待できます。



久元市長と藤澤神戸大学医学研究科長の調印式



楽天三木谷社長と久元、藤澤両氏の記念写真

05 西神中央が変わります!

プレンティ広場 バス タクシーロータリー



プレンティ広場



西神中央 バス タクシーロータリー

神戸市西区に位置する西神中央では、まちの質・くらしの質を一層高めることで都市ブランドの向上と人口誘引につながる新しいプロジェクト「リノベーション・神戸」の一環として、新西区庁舎や文化・芸術ホール、新西図書館の整備等、まちの一層のにぎわいや魅力向上を目指し、駅周辺のリノベーション事業が進んでいます。

その一環としてプレンティ広場や西側駅前広場等のリニューアルが実施されます。西側駅前広場はバスレーンを3つ移転させ、その部分が拡張されます。

花時計 ステンドグラス

拡張された西側駅前広場には花時計が配置される予定です。ご存知の方も多いと思いますが、市役所そばの東遊園地には花時計があります。

この花時計は、宮崎市長(故人)が1950年代後半のスイス視察の際、ジュネーブのイギリス公園にあった花時計を真似て神戸市に導入し、現在まで70年余りにわたり神戸市のシンボルとなっています。今回、東遊園地にある花時計の縮小版を西側駅前広場に設置する予定です。

また、ドーム型の屋根に太陽と緑をテーマにしたステンドグラスは、老朽化しているため私の方からはり替えを要望し、約2千万円の予算で新しくはり替えされることが決まりました。

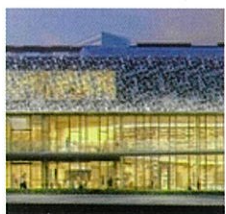


花時計イメージ



ステンドグラス

文化・芸術ホール



文化・芸術ホール外観



文化・芸術ホール内部

客席は500席、面積は約2,500㎡、多目的スペース、リハーサル室、練習室、楽屋兼会議室、カフェ等を備える施設となります。

文化・芸術ホールの基本コンセプトは次の3つです。

◆ 鑑賞〈さく・みる〉

プロのアーティストによる質の高い公演や、カジュアルに楽しめるコンサート等、多様で良質な公演を提供し、文化芸術の素晴らしさ、楽しさ、感動、魅力を伝える。

◆ 普及・育成〈ふれる・はぐくむ〉

ワークショップ、ロビー、コンサート、市民サポーターの養成・支援、近隣在住のアーティストの起用や育成等、入口から高みを目指すよう、多様で段階的なプログラムを提供する。

◆ 交流〈であう〉

カフェやアートウォールを基点とした趣味や鑑賞後の交流会をオープンデー等で様々なジャンルや楽しみ方を体感・体験できる機会等、ジャンル、地域、世代などを超えて交流することのできる機会を提供する。

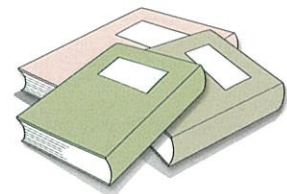


図書館

蔵書約30万冊、座席約300席、面積約2,300㎡で学習室、セミナー室、おはなしの部屋、ボランティア控室、対面朗読室等を備える施設になります。文化・芸術ホールとの共有部分に交流モールや、キッズスペースを備えます。

基本コンセプトは次の通りです。

- (1) 絵本から専門書まで広い範囲の蔵書の拡充
- (2) 一定の規模のある、質の良い読書空間
- (3) 青少年や子育て世代が足を向けやすい使いやすい設備、サービス
- (4) 本を通して人が集まり、共に学ぶ場所
- (5) カウンターで利用者を長く待たせない仕組み



図書館その①

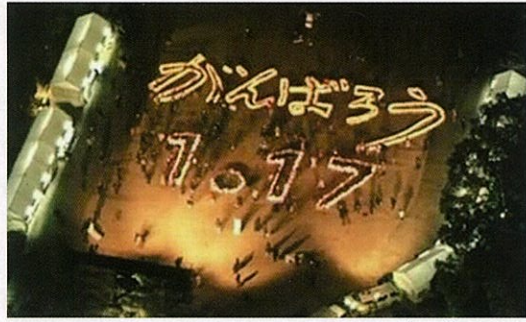


図書館その②



図書館その③





がんばろう1.17

コラム1 阪神淡路大震災26年目を迎えて

本年1月17日に緊急事態宣言下の神戸市中央区の東遊園地で、「1・17のつどい」が開かれました。入り口では検温が実施され、消毒液を各所に置くなど、新型コロナ対策がとられていました。6434人が亡くなった阪神・淡路大震災から26年が過ぎました。

コロナ禍ではありますが震災の記憶を途切れさせないで、次代に継承させていくことの重要性をかみしめました。

コラム2 学園東町コミュニティバスについて

地域組織「学園東町まちバスを走らせる会」様のご尽力もあり、地域の交通課題解決のため、コミュニティバスの本格運行を実現すべく、検討が進んでいます。令和3年1月10日(日曜日)～令和3年3月31日(水曜日)を期間として、コミュニティバス「にじ色バス」が3つのルートで試験運行されています。



たまりばプロジェクト

コラム3 西区役所玉津庁舎リノベーション たまりばプロジェクトが終了

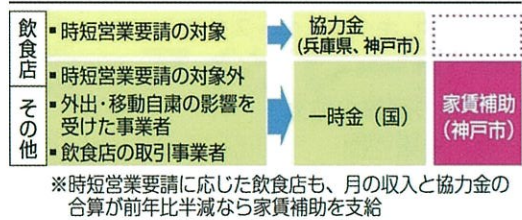
玉津庁舎の利活用・使い方について、実際に庁舎を使用したい方々と具体的に検討を進めていくワークショップ「たまりばプロジェクト」が2月末で終了しました。参加者の皆様の熱い思いは、主催者側には届きました。このプロジェクトの成果を取り入れ、玉津庁舎再スタートに大いに参考になると思われます。参加者の皆様、誠にお疲れさまでした。

コラム4 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金について

- ◎令和3年2月7日までの新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金の申請締め切りは令和3年3月8日(月曜日)で終了しました。
- ◎第二期令和3年2月8日(月)～2月28日(日)の国の新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金の申請開始日は4月1日の予定です。
- ◎第三期令和3年3月1日(月)～3月7日(日)は県単独の協力金となっています。
- ◎第四期令和3年3月8日(月)～3月31日(水)も県単独の協力金となっています。また第一期で提出しているうちの共通書類は第二期以降では省略できます。それぞれの期の要請内容は違いますので注意して表をご参照願います。

	緊急事態宣言に基づく緊急事態措置		県による要請	
	令和3年2月8日(月)～2月28日(日)【21日間】	令和3年3月1日(月)～3月7日(日)【7日間】	令和3年3月8日(月)～3月31日(水)【24日間】	神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市
対象地域	県内全域		神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市	
要請内容	通常、午後8時以降も営業している店舗が、営業時間を午前5時から午後8時まで(酒類提供は午前11時から午後7時まで)に短縮すること	通常、午後9時以降も営業している店舗が、営業時間を午前5時から午後9時まで(酒類提供は午前11時から午後8時まで)に短縮すること	通常、午後9時以降も営業している店舗が、営業時間を午前5時から午後9時まで(酒類提供は午前11時から午後8時30分まで)に短縮すること	
支給額	1日あたり6万円/店舗×時短営業日数		1日あたり4万円/店舗×時短営業日数	
対象施設	飲食店・遊興施設のうち、食品衛生法上の飲食店営業許可又は喫茶店営業許可を受けている店舗(酒類を提供する店に限定しません)			

緊急事態宣言再発令に伴う支援策のイメージ



家賃負担軽減緊急一時金

コラム5 事業者家賃負担軽減緊急一時金について

2月議会で緊急事態宣言に伴う営業時間短縮や外出自粛要請等の影響により、売上が減少している市内中小事業者の事業継続を支援するため、市内で事業のために賃借している建物の家賃相当額1ヵ月分の2分の1を支給することが決まりました。保障の対象は緊急事態宣言期間中のいずれかの月の家賃1ヵ月分の2分の1(1事業者あたり、最大50万円上限)ハードルは高いですが、時短要請に応じた飲食店も月の月収と協力金の合算が前年比半減なら本家賃補助の対象となります。

コラム6 身を切る改革実行中

年間議員報酬から毎月12万円を国内の被災地等に寄付活動を行っております。この1年間の寄付先等詳細は右記の通りです。今後ともいただいた議員報酬の中から被災地寄付活動を行ってまいります。

災害義援金寄付先	金額
京都市「新型コロナウイルス感染症対策」	80,000円
大阪府「新型コロナウイルス助け合い基金」	280,000円
鹿児島県令和2年7月豪雨災害義援金	200,000円
福岡県令和2年豪雨災害義援金	200,000円
熊本県南豪雨義援金	735,440円
年間合計	1,495,440円

もっと強く、もっと優しいまち 神戸へ!

さとっまち通信 8号

発行元：日本維新の会 神戸市議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館29階
TEL.078-322-0185
FAX.078-322-0184
E-mail:info@kobe-ishin.jp
https://kobe-ishin.jp



質疑 予算特別委員会
健康局
2021.3.3

ワクチン接種について、質疑しました。



●ワクチン接種の風評被害について

さとう: ワクチンにつきましては、アレルギーをお持ちの方など接種したくても接種できない方がいらっしゃいます。これまでは医療従事者への風評被害防止対策が必要とされましたが、今後はそれに加え、ワクチンを接種しない方への風評被害の防止に取り組むべきと考えますが、いかがでしょうか。

樋口保健担当部長: ご指摘ございましたアレルギーをお持ちの方、あるいは妊娠中の方など、接種の希望があっても接種を受けられない方がいるということも想定されます。こうした方々への配慮を欠くような風潮が生まれることは避けなければならないことですので今後、市民への接種を進める中で、ワクチンを接種しない方への風評被害の防止、こちらについてもしっかりと取り組んでいきたいと考えてございます。



▲新型コロナウイルス感染症病棟
(神戸市立医療センター中央市民病院)

●風疹についても、何度も質疑をさせていただきました。

さとう: 初期妊娠初期に風疹に感染した場合、その胎児が先天性風疹症候群、白内障難治難聴心奇形になる可能性が非常に高いと言われております。これこそワクチンで予防できるものですから、**風疹排除を目指すべき**です。

伊地智健康局担当部長: 現実的には対象者中ほぼ18万人のうちの4万人の方が抗体の検査をしておられる。そして約1万人弱の方が予防接種を受けておられるという、またやっぱり低い数字であることは確かでございます。インパクトのあるような訴えかけを何とか考えていきたいと思っております。

対象者の、1962年から1979年生まれ、四、五十代の男性の気持ちにしっかりと届く効果のある広報啓発をぜひよろしくお願いいたします。(どんなポスターやクーポンなどが出来るのか、楽しみです。)

神戸市における変異株サーベイランスの状況

(サーベイランス: 感染の状況を把握し、感染防止に活用する事)

神戸市では、他都市と比べ、市内の医療機関から多くの陽性検体を収集していることや、変異株の確定にあたり、他都市では国立感染症研究所でゲノム解析を確認する必要があるため5日~1週間程度時間を要するのに対し、神戸市では環境保健研究所において、2日程度でゲノム解析まで完結できる監視体制があること等により、結果として変異株を多く検出することにつながっています。

感染する仕組みと変異の特徴

「2020年12月26日朝日新聞デジタル」より一部引用



新型コロナウイルスの変異株

- ① 英国型(N501Y変異)
スパイクタンパク質の501番目のアミノ酸がチロシンに置換(N501Y変異)。感染力の増加が懸念されている。
- ② 南アフリカ型とブラジル型(N501Y変異 + E484K変異)
N501Y変異に加えて、484番目のアミノ酸がリジンに置換した変異(E484K変異)を持つ。感染力の増加と免疫効果への影響が懸念される。
- ③ 新たな変異株(E484K変異のみ)
N501Y変異を持たずE484K変異のみを持つ新たな変異株が国立感染症研究所から報告された。海外から移入したとみられるが起源は不明。

変異株に対する個人の基本的な感染予防策はこれまでと同じ、**三密の回避・マスクの着用・手洗いの徹底**をお願いいたします。
そして、**日頃からの体力作り**も大切です。適度なウォーキングや、声を出し喉を鍛える事、食事はバランスよく、繊維質のものもしっかり食べて、**胃腸を良い状態にしておく**事も、ウイルスに強くなる体作りとなります。

新型コロナウイルス専用 健康相談窓口 ☎078-322-6250 24時間対応

- 新型コロナウイルス感染拡大で不安を感じている方へひとりで抱え込まずにご相談ください。
- 精神保健福祉センターの相談窓口 ☎078-371-1900 月曜~金曜 午前8時45分~17時15分(12~13時・祝日除く)
- 新型コロナウイルス感染症の影響による市税の納税猶予制度の相談 [神戸市行財政局税務部収税課] ☎078-647-9475 (平日 8時45分~17時30分)
- 緊急小口資金新型コロナウイルス特別貸付コールセンター 休業や失業等により収入が減少した方を対象 ☎078-262-1626 月曜~金曜 9時00分~12時00分/13時00分~17時00分

24時間いつでも。悩み事などご相談ください。

▶ こうべっこ悩み相談「いじめ・体罰・子ども安全ホットライン」

フリーダイヤル ☎0120-155-783 ※相談通話料 無料 ☎078-361-7710 ※通話料 有料

- 全国共通「24時間子供 SOS ダイヤル」 電話相談24時間(土日祝含む) 0120-0-78310(通話料無料)
- 総合教育センター教育相談指導室(不登校、学校生活、いじめ、体罰など) 電話相談 9:00~17:00(平日) 0120-790-783(通話料無料) (078)360-3152・3153 面接相談 10:00~12:00/13:00~17:00(火~金曜・予約制) (078)360-3150・3151

虐待を見たら 聞いたら... (イチハヤク) ☎189番 (緊急の場合は110番へ) 救急に迷ったら... (シャープな119) ☎#7119番 性犯罪被害相談... (ハートさん) ☎#8103番

※通報者の身元を明らかにする必要はありません。



本会議場にて

質疑 令和2年 決算特別委員会 第3分科会(教育委員会) 2020.10.7

さとう:以前にも質問させていただいたのですが、保護者や子供たちが直接弁護士に相談できる窓口を設けるべきであると思っております。教育委員会を挟まないという相談です。現在の状況についてお伺いいたします。

長谷川教育委員会事務局長:児童・生徒や保護者の皆さんが、学校ですとか教育委員会だけでなく、直接弁護士に相談できる窓口を設置するという事は、専門家による相談体制の充実を図るという観点からも、我々としても望ましいことであるというふうに考えてございます。そのため、現在、児童・生徒や保護者が弁護士と相談できる体制について、兵庫県の弁護士会と相談をしておるところでございます。これまでも5回の打合せを行ってまいりました。ただ、常設の相談窓口を設置するとなると、運営面などの課題があるわけございまして、引き続き調整していかなければならない事項もございまして、まずは大分県が実施されているような、年に数回の臨時的な窓口を設けるところから、我々としては試行的に実施する方向で、弁護士会と調整していきたいというふうに考えてございます。今後も引き続き弁護士会と相談しながら、弁護士に直接相談していただけるような体制の整備に向けて、取り組んでいきたいというふうに考えてございます。

さとう:オンライン授業の実施について伺う。

GIGAスクール端末の納入が始まれば、不登校をはじめ何らかの理由により登校できない児童・生徒を対象に出来るだけ早くライブ配信を始めていただきたい。肖像権もあり、生徒全体を映す事や、先生自身も映すことは難しいかも知れないが、いろいろな取決めをしていただいて、常につながっている事、見放していないということをしつかりと生徒に伝えるためにも、端末が来ると同時にオンライン配信ができるよう、早急に準備を進めていただきたい。

山下教育委員会事務局総合教育センター所長:御指摘のとおり、我々も前向きに取り組んでいこうと思っております。御指摘のように、幾つかやっぱり解決しなければならぬ問題、それから本市の場合はチームズを使いますので、それを使った研修も一定必要でございますので、できる限り急ぎ、準備をした上で取り組みたいと思っております。

さとう:生徒と教員、校長の自己肯定感を育てる取組が重要。

山下教育委員会事務局総合教育センター所長:非常に大事な観点。教員も含め、互いが尊重し自己肯定感を高めるような取組みを進めてまいりたい。

さとう:LGBTQを教える場合に、制服が男女分かれているというのは説得力に欠ける。男女共用スラックスを導入している学校への指定外通学を認めるべき。

住谷教育委員会事務局教育次長:性の多様性についても配慮を要する観点で、学校への周知を検討したい。

<現在、回数、時期などを弁護士会と検討中>

質疑 令和2年 文教子ども委員会 2020.6.18

[文教子ども委員会の最後の質疑]

さとう:小学校と中学校の道徳と保健の教科書を一通り読み、道徳に関して、障がいやLGBTQも含め、あまり含まれていないから、基本的な人権の尊重さえできてないのではないかと感じる。神戸市においても、パートナーシップ制度さえ他都市の動向を鑑みるなどの答弁は、解決への積極性が感じられない。言葉や上辺でなく、本当に1人1人の幸せを願い、真から多様性を認めるといふふうで教えるのなら、実行的な政策を進めるべきだと思ふ。だからこそ、未来を担う子供たちへは、自分たちで壁を作らない教育が重要となってくると思う。副読本についても再考していただき、時代に合った授業内容の改善を図っていただきたいと思う。

性教育の遅れについては、保健の本に関しても一通りの知識と、昔学んだような知識と、少しネットの事が入っているぐらいで、情報化の現実にそぐうものではない。神戸市の中絶手術の数は10代も多い。この数字が教育の不備を物語っている。秋田県は、10代の中絶率が平均より高かったことから、性教育に力を入れ始めた。モーニングピルについても、大人でさえも知識を持っていないことも問題視され

さとまち通信(7号)

2019 「外郭団体に関する特別委員会」より抜粋

2 公益財団法人神戸国際協力交流センターについて

質問 代々、市長の天下り先になっている(給与総額3,800万円(令和2年現在))。選任理由として、適材適所を繰り返すばかり。理事長は理事からしか選ばれないという事で、理事の席がまだ余裕があるという事なら、しっかりと国際貢献していただく若い方を選定する考えはないか。

答弁 財団と相談しながら、順次考慮する。→ **まだまだ甘い! 追求を続けます!**

3 株式会社OMこうべの取締役について

質問 OMこうべは多岐にわたる業務を抱えている。経営者という点で、前区長や住宅都市部にいた方々が担うのは経営という観点では違うのではないか。商業施設のプロをトップにおいてはどうか。

答弁 市のいろんな経験を得られている職員から登用して、流通部門でキャリアのある取締役も置いている。→ **経営経験のある外部人材を登用すべきと訴えていきます!**

ています。現在、行き場を失う10代の少女も非常に増えています。授業内容に関しても、東京などは医師会と連携しながら教育で性教育を見直してしっかりとした内容をしております。医師会と連携して取り組んでいただきたい。

もう一つは、校長先生について、リーダーシップを発揮していただき、学校一丸となれるようなチーム作りができる人材が必要だと思ふが、教頭職を終えられた後に2~3年の間、何事もなく校長職が終われば天下り先もある。そういう流れだとなかなか思い切った事をするのが難しいのかと思われる。何よりも子供たちのことを大事に考える人材、何があっても自分が責任を取るというような校長でない、組織のトップとして適格ではないと思ふ。

頻りに毎年のように教員が事件を起こしております。許されるものではない。これも毎年、しっかりと適性検査をして欲しい。教育委員会については、何か問題が起こると対処で手一杯となる。それでは中々、新しい教育というのが進まない。問題が起こったときに対応するチームと、今後の取り組むべき課題に対して先進的に取り組むチームというのが必要と考える。そうしないと、行うべき改革のようなものが全く遅れていく。

ICTに関しても、政令都市にあるにかかわらず、非常に遅れているなということもあったので、ゆくゆくは長期入院となっても不登校となっても卒業するときには引け目なく学力を備えることができるよう、しっかりと充実させていただきたい。

質疑 令和2年 福祉環境委員会 2020

ヤングケアラーについて 口火を切りました!

第一弾 2020.9.24

さとう:皆さん御存じだと思いますが、仕事と介護で睡眠時間が削られて、祖母を殺害してしまったという事件について。もう少し精神的なフォローが必要だったのではないかと。今後、ヤングケアラーを含め、仕事をしながら一対一で介護をされている方への配慮。特に、今コロナ禍でますます閉塞感も高まっている中で、そういったフォローをしていただきたい。

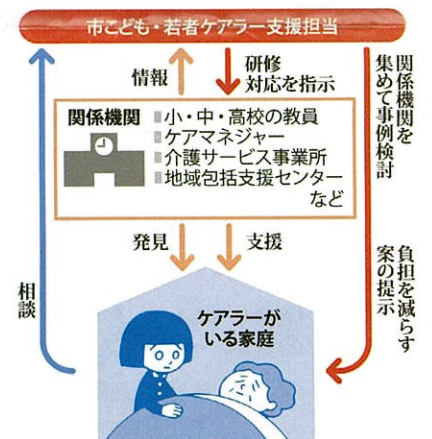
第二弾 2020.12.1

さとう:前(事案後:9月24日委員会)に質問させていただいたヤングケアラーの件。今までの制度や介護リフレッシュ教室では救えなかったという事だった。厚労省が義務教育に手を広げたが、全てを把握できるわけではない。そこからこぼれている方を救うことも大事。例えば、ケアマネや民生委員の手が一杯なら、学校や職場から福祉につないでもらうことなどが最短だと思う。

▶ヤングケアラー支援で神戸市が 専門部署相談・情報窓口4月新設

通学や仕事をしながら家族の介護や世話をし、「ヤングケアラー」と呼ばれる子供や若者を支援する専門部署を、神戸市が4月に新設する。「社会から見えにくい」とされる中、本人や周囲で気付いた関係者からの相談・情報を受ける窓口をつくり、学校や福祉部局などの関係機関による支援をバックアップする。市によると、ヤングケアラー支援に特化した部署の設置は全国初。

神戸市のヤングケアラー支援の流れ



その後... こんな動きがありました!

公益財団法人 神戸国際協力交流センターについて

大阪でも、知事も市長も退職金がゼロということ掲げている。<認知症に優しい神戸>では、1人400円ほどの増税となった。市長は、市長という職を全うするもので、もしその後国際貢献をされたいのであれば、退職された後は、御自身で会社を立ち上げていただいてやっていく、または完全ボランティアでやっていただく、それだったら皆さん納得はします。この職が、もしこの理事長が矢田さんしか適任がいなかったということであつたら、これはこれで問題で、これからの人材を育てていく、国際協力に貢献できていくという人材を育てていくという点で、これは神戸市の怠慢や落ち度ではないかという疑問を、令和元年外郭団体に関する特別委員会(2019-08-07)にて、させていただきます。

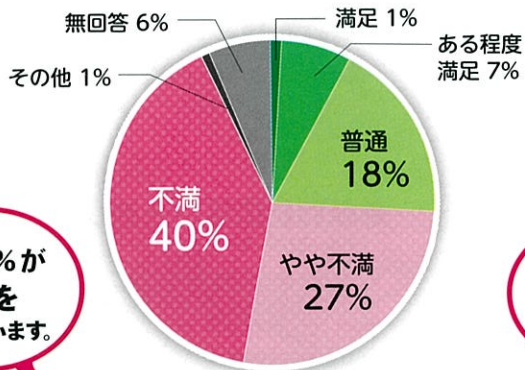
矢田前市長は、2020年3月末で辞められ、4月から、昭和精機株式会社取締役会長 藤浪芳子氏が4月から就任しています。

株式会社OMこうべの取締役について

久元市長:OMこうべの歴代社長には、神戸市のOBが就いてきたが、ニュータウン関連の仕事に加え、ベイ・シャトルの運航という、全く異質の仕事も行っている。マネジメント、業務内容ということを考えてときに、組織の見直しを行い、その上で適任の社長をどう選んだらいいのかという発想で検討をさせていただきます。

市民の皆さんにお聞きしました!

Q1 今の神戸市の現状に満足していますか?

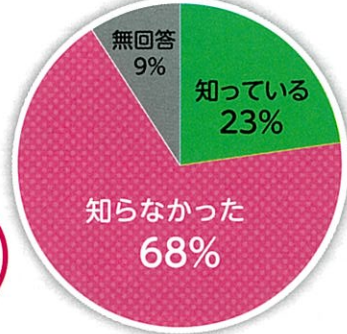


67%が不満を感じています。

「活気がないように見える」「人口減の現状を人の集まる町にしてほしい」「三宮駅前開発よりもっと細部に目を向けて!」

神戸の発展と未来のために、本気で改革します!

Q2 日本維新の会 神戸市議員団は、身を切る改革を実施しています。議員各自が、月額報酬20%相当12万円(手取り額)を被災地等に寄付しています。皆さんはご存知ですか?



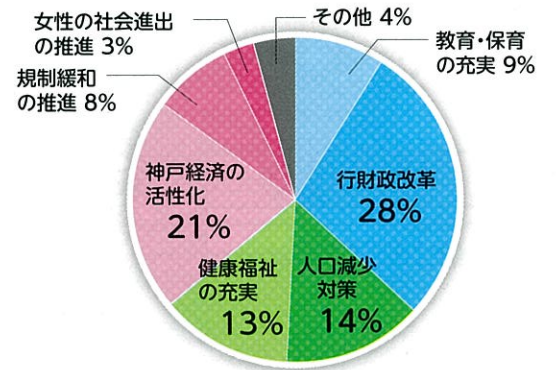
68%が知らなかったと答えています。

「金額を知らなかった。なぜ全議員に広げないのか?」「他党は言うだけ」「他の党にも求めてください」「企業から献金とか受け取っていますか?」

※日本維新の会は、企業からの献金は一切受け取っていません!

「市政報告『日本維新の会通信』Vol.7』アンケート結果より(日本維新の会 神戸市議員団まとめ)

Q3 日本維新の会 神戸市議員団に期待する点は?

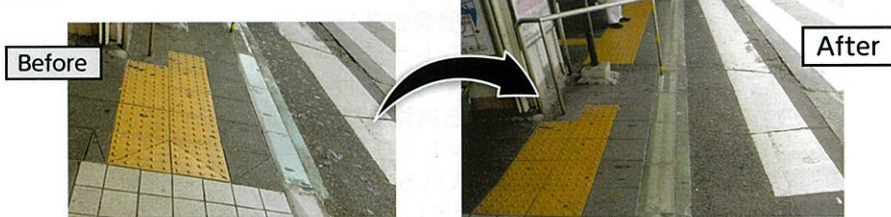


みなさまのお声をお聞かせください

下欄に添付のアンケートにご記入の上、ご返信ください。

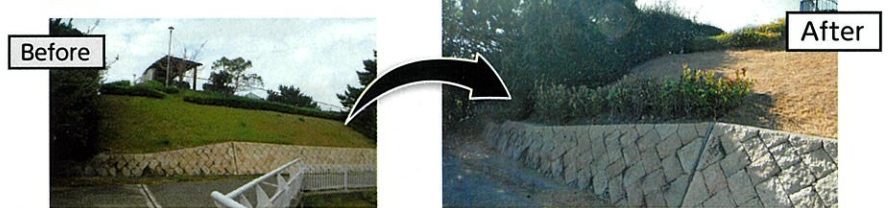
地域のこんなところ改善されました!

垂水西口 北出口の滑り止め



目の前で、滑られたのを見て対応。本来は山陽電鉄のもののようにです。

苔谷公園の法面



子どもたちが斜面から転げる危険を、植栽によって防止する目的です。時間とともに植栽が大きくなり、より効果が出てくるということです。

西野田公園の植栽

視界を遮るように伸びていたのが犯罪防止の面からも即、剪定していただきました。



皆様のお近くにお困りごとがありましたらお気軽にご連絡ください

山陽西舞子駅 北に出た道路



通学する子どもたちが渡る通学路にも関わらず、スピードを出す車が多かったので、注意喚起をする電柱への巻物を早急に設置していただきました。

※垂水健康公園の案内板が劣化して見えにくくなっていました。近々新しくしていただく予定です。

視察のご報告

色々な施設等を視察いたしました。政策に生かしてまいります。



神戸市 栽培漁業センター



下水処理場 (垂水処理場)



理化学研究所 計算科学研究センター (富岳)



クリエイティブラボ神戸



1. コロナ禍で、一番お困りの事をお聞かせください。(子育て、経済、健康、将来についてなど)

2. コロナ禍における神戸市の対応について。

※あてはまるところに○をつけてください。

満足・やや満足・普通・不満・かなり不満

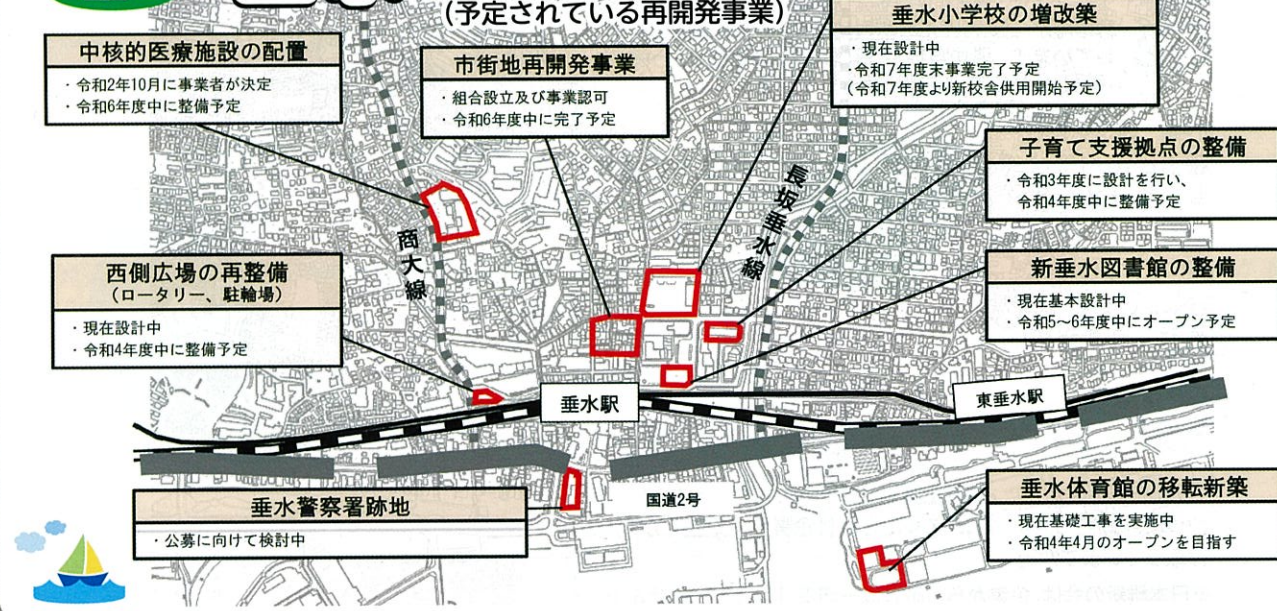
3. 今後、自然災害も懸念されます。土砂崩れの心配や、あなたの身の回りで早急に対応して欲しい事案などありますか?

4. 今後、神戸市に望む事、または市政相談などがあればお書きください。

※任意

お名前	(ふりがな)
ご住所	
電話番号	
メールアドレス	

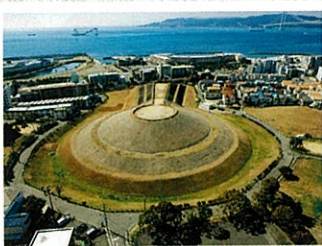
垂水がもっと住みよいまちに!



●商大線駐輪場 (イメージパース)



●駅西側広場ロータリー (イメージパース)



五色塚古墳の整備

令和3年度は、最寄り駅から古墳へのアクセスサインの整備、五色塚古墳のさらなるPRなどを進める予定です。

また、国・県の補助が得られた上で周辺公園整備の基本設計を行う予定です、これが実施されれば、継続した補助を前提に実施設計、公園整備及び展示サービス施設の基本設計・実施設計・建設工事を8年程度かけて進める予定です。なお、現在のところ国・県の補助については協議中です。

垂水の自慢、4世紀後半に築かれた五色塚古墳。史跡指定を受けてから100年を迎えました。こどもたちへとしっかり引き継いでいきます。



大歳山遺跡 復元竪穴建物の改修

令和元年度に復元建物改修に向けた調査と仕様及び概算整備費の作成を行いました。現在のところ、改修工事の実施については未定です。

昨年度、損壊された箇所については修復済みです。今年は「おとし山まつり」開催されると良いですね。



新垂水体育館 (イメージパース)

垂水体育館と垂水勤労市民センター体育室・トレーニング室を集約し、垂水スポーツガーデン内に移転させる。2019年度に設計を終え、20、21年度に建設し、22年度から供用を始める。既存の垂水体育館などは22年度に解体。次のようなやり取りもありました。

■令和2年予算特別委員会第1分科会(2年度予算)2020-03-03にて
市民参画推進局:セントラルハウスを通して、セントラルハウスから体育館までは上、屋根がついてますので、ぬれずに行けるといような通路の形態もあります。▶車椅子の方など、雨風にさらされながら通路を移動するのは辛いですね。ただでさえ場所が遠くなるのですから、屋根のあるエントランスまで車をつけられて、高齢者や車椅子の方、雨の日も風の日も濡れずに体育館に入れるようにすべき。と、訴え続け、介助者がある場合は、駐車場から携帯端末等で職員を呼び出し、ポールを下げてもらい、エントランスの屋根のあるところまで車を乗り付けることとなりました。



新垂水図書館 (イメージパース)

令和2年度～3年度: 設計事業者決定～設計
令和4年度～: 工事 令和5年度～6年度: 竣工

静かに自習できるスペース、子どもたちが気兼ねなく絵本を読むスペース、車椅子に十分な配慮をすることなど要望しました。待ちに待った新しく広くなる垂水図書館、憩いの場となる事は間違いなしです。楽しみですね!

〒655-0872 神戸市中央区加納町6丁目5番1号 1号館29階

日本維新の会
神戸市議員団室 行

郵便はがき
650-8790

料金受取人払郵便
神戸中央局 承認
8268

差出有効期間
令和3年7月31日まで
(切手不要)

日本維新の会 神戸市議員団へのご意見やご提案をお書きください。

神戸市議会について

神戸市会議員の発言の場は、皆さんがよく知る本会議(一番大きな議場で全議員出席のもと、会派を代表して行う代表質疑や一般質問など)と、常任委員会(一年を通し開催)であり、年度によっては特別委員会を受け持つ場合もあります。そして予算及び決算に関しては三つの分科会に分かれて予算及び決算について審議を行います。

昨年度は、『文教子ども委員会(現:教育子ども委員会)』と、『外郭団体に関する特別委員会』に所属しておりました。

本年度は、『福祉環境委員会』に所属しており、特別委員会の担当はありません。

本会議や各委員会において、諸問題を当局に対して指摘や提案を行います、すぐに実行されるという事はなく、ほとんどの場合は一年以上をかけ予算に組み込まれるか否かという流れです。

よって今回は、これまで結果が出ている『子ども教育委員会』においての内容が主となっておりますが、今回は現在担当している福祉ならびに環境関係についての内容をご報告させていただきます。

自身の経験、そして皆さまから賜りました貴重なご意見などからも質疑をさせていただく事もありますので、是非とも皆さまの多岐にわたるご意見をお聞かせいただければ幸いです。

さとう まちこ

さとうまちこ 事務所 〒655-0872 神戸市垂水区塩屋町1丁目3-11

☎ 080 2420 8727

✉ satomachikobe10@gmail.com

https://www.satomachi.info/

もっと強く、もっと優しいまち 神戸へ!

さとっまち通信 9号

発行元：日本維新の会 神戸市議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館29階
TEL.078-322-0185
FAX.078-322-0184
E-mail:info@kobe-ishin.jp
https://kobe-ishin.jp



予算特別委員会(健康局・福祉局)にて、質疑いたしました!

質疑

予算特別委員会
(第2分科会) 2021.3.3

健康局

新型コロナウイルス感染者への対策

さとう:神戸市では、**自宅療養や入院調整中で自宅にて療養している患者さん**がこれまでも数多くおられた。こういった患者の容体が急変しないよう、地域の医療機関が連携して患者の重症化を防止するための対応が必要であると考え。また、保健師により自宅療養者の健康観察をしていると思うが、保健師は手がいっぱいなので、気持ちのケアまで踏み込んでいくことは現状では難しい。**積極的に精神科医やカウンセラーなどのカウンセリングを行うべき**だと考えるがどうか。

花田健康局長:自宅療養者、併せて入院調整中のものも含めて健康観察については、アプリまたは電話にて毎日、保健所のほうで行っている。パルスオキシメーターを全員に貸し出し、数値が低下した場合には保健所に至急連絡いただき、場合によっては救急搬送を行う。さらに、自宅療養者、入院調整中の方に対する健康管理を充実させていく。服薬、コロナ以外の持病などの服薬について、かかりつけ医のほうで対応することができないかということ、現在、神戸市医師会のほうと協議を行っている。

一方、メンタル面で、今後の病状の悪化、周囲の偏見に対する不安。自宅にいるけど周りにばれたらどうしようとか、追い込まれた不安などというのが非常にある。心理面でのケアが必要な方については、まず保健師が寄り添って傾聴するなどの支援を行っているが、自宅療養、それと宿泊療養施設においても、少し悪くなってきた方については、治療の要否判断が必要な場合ということになってきたら、精神保健福祉センターの精神科のドクターが直接訪問、電話ということで対応をさせていただいている。

メンタル面を含め、自宅療養、入院調整中の方につきまして、きっちりと対応していきたい。

さとう:当然、今でも気持ちが落ち込んでいると自ら申告される方には御案内されていると思うが、**鬱になっていることを御自分でも気づかない**という場合もある。チェックシートやホームページなどを活用しながら、御自身の状態を皆さんに再確認していただくという方法もあるかと思う。(コロナに起因する自殺者が多い事を鑑みて)

要望1 コロナの後遺症、倦怠感、頭痛、動悸、味覚障がい、不眠、鬱、脱毛、不安など抱える方々にも**後々のご支援**を要望する。

要望2 変異株も確認されていることから、今後、**第4波が来た場合、新たな感染症が発生した場合に備え**、特養や老健など高齢者施設で患者を留め置きするようなことが生じる場合もあるかと思う。嘱託医で診ることが難しい場合などを想定して、手を挙げていただいた**ドクターや看護師などでチームをつくり診療・治療する体制を構築しておく**ことも必要ではないか。初期の治療で患者の重症化を防ぎ、医療体制を守ることにつながると思う。次回来るかもしれない新感染症に備え、実績のある他都市の医療などと連携を組み、即座に動けるような体制も必要かと思う。**ご検討をお願いします。**

難病に関わる制度について

さとう:難病に関わる制度は複雑かつ難解であることから、制度の仕組みを理解するのに時間がかかるとお聞きする。難病患者、その御家族の困っていることを把握し、改善できるところは改善していく必要があると考える。**現在どのような形で把握を行っているのか**、今後の予定を含め、お聞かせいただきたい。

伊地智健康局担当局長:難病に関しましては大きい2つの柱がある。医療に関する

助成、それと、患者さん、家族の生活の質をよくしていく面。その面から、議員言われますように、まず**手続のことをきちんとやっていく**ということが大事だと思っており、この難病の制度は結構書類とか、そういうのが多く要る場合があるので、**必要な書類をフローチャート図の作成をし、認定までの流れを図示したりして説明のものを作っている**。申請後、給付が認められた後には受給者証を配るが、そのときに、医療費負担、更新の手続、療養生活の質を保つために、療養に関する生活に関する支援をするための窓口の場所、その連絡方法などを保健福祉サービスの御案内という中に難病として入れている。

もう1つ、**患者さん御家族の御意見、思いの把握**ということについては、令和元年に神戸大学に委託をし、**神戸市の難病相談支援センターを設置**。専門職がおられ、難病の方、治療を受けられた方、大学の患者さんだけではなく、いろいろな病院でも治療をされておられる難病の方が行き、相談をしたり生活の指導をしていただいたりするような場所となっている。神戸難病相談室というのが難病の患者さんが設置しておられ、それに対する助成をし、情報共有をしている。また、**公式的な御要望をお聞きする場所としては、難病対策懇談会というのも設置し、現状を把握している**。継続して充実させ、努めたい。

さとう:実際にお困りという難病を持つ70代の女性のお悩みをお聞きした。行政が細かなサービスを行っていたとしても、それが当事者に届かないと意味をなさない。御家族がなく、御近所にお知り合いのいない方には特に、**医師以外の第3の目という意識をしながらの啓発をお願いします。**



Topic.1

産官学医で光免疫療法を推進

神戸市と楽天メディカルジャパン、神戸大学院医学研究科は、2月9日、新たながん治療の研究開発に関する連携、協働協定を結びました。同社の新薬と、がん光免疫療法を用いて頭頸部がん治療に取り組みます。この療法を開発したのは西宮市出身の小林久隆医師。数年前、楽天の三木谷社長が、お父様で元神戸大学経済学部の教授でいらっしゃった三木谷良一さんのがんを何とか直す治療法がないかと探しており、この治療法に行き着いたのですが、間に合わなく、お父様はなくなってしまいました。しかし、この光免疫療法に感動した三木谷社長は、楽天メディカルを設立。140億円を出資し、小林久隆さんを応援する事とし、小林さんの方も、薬剤のネーミングを三木谷さんのお父様の頭文字、「R」と「M」を取り、また、生まれ年が1929年でいらっしゃったので、RM1929とされたそうです。

そのRM1929と治療機械が、無事、昨年9月に国の正式承認を得ました。その後、RM1929は、「アキシャルクス」と名を改めました。当面は、首から上の頭頸部のがんに使われるそうです。また、同年12月には「公的医療保険の適用」も決まりました。

すでに未来のノーベル賞候補とも言われているこの光免疫療法を、神戸市、楽天メディカルジャパン、神戸大学がタッグを組んで、本格的に実用化に向け推進していく事で、市民の皆様が先進的ながん治療を受けられる早期な体制の構築が期待できます。

Topic.2

JCRファーマ/神戸市に 新型コロナワクチン原液の新工場

JCRファーマ(芦屋市)が、神戸市との間で土地の取得契約を結び、新型コロナワクチン原液の製造工場を、西神南にある工業団地(神戸サイエンスパーク内)に建設すると発表しました。
2万㎡の用地に製造棟と事務棟を建設し、2022年10月の竣工を目指します。新工場では、英製薬大手のアストラゼネカから業務受託している新型コロナワクチン原液の受託製造をする事となります。

■新工場の概要

建設地:神戸市西区(神戸サイエンスパーク内) 用途:工場用地
敷地面積:1万9991.17㎡ 建物:製造棟(地上1階建)、事務棟(地上3階建て)
総工費:116億円 着工:2021年7月予定 竣工:2022年10月予定



新工場(イメージパース)

質疑

予算特別委員会 (第2分科会) 2021.3.4

福祉局

障がい者の就労支援事業所のさらなる発展について

さとう:神戸市では、障がい福祉サービス事業所等のできることを紹介する、**ふくワザ**というウェブサイトを開設しているが、ご存知ない事業者もいたので、多くの事業者を活用していただき、仕事や商品の発注につながればと考える。このサイトに関する広報はどのように行っているか。特に、掲載対象である福祉事業所には十分伝わっているのか。

森下福祉局長:令和2年10月に全事業所に、424事業所に一斉に登録の御案内をした。そのうちの40事業所から掲載の希望があってスタートした。その後、令和3年2月、先月、掲載していない事業所に対し、神戸市のホームページからこの**ふくワザ**について具体的な登録の方法を個別に通知した。その結果として、数多くの問合せもいただいている。

さらに、自社製品の写真、広報の文書紹介の記事の作成方法、スキルの部分の援助も大事なので、令和3年度には、自主製品の写真撮影の仕方、紹介記事の作成方法などを専門的に専門家が指導する講習会を開催など、テクニカルな部分でのサポートも考えている。

さとう:私の知っている**就労支援事業所**では、**民間企業とのコラボという形でお菓子を製造・販売**している。これは単なる受注関係ではなくコラボという点を発信していくことで、民間企業、福祉事業者の双方にとって非常によいPR効果をもたらせていると聞いている。**こういった事例が増えるように行政としても積極的に関わってはどうか。**福祉事業所の商品力の向上に関し、今後の取組を問う。

榎原福祉局担当部長:障がい福祉サービス事業所が単独で自主製品の開発や販売を行うのではなく、民間企業と連携をして事業展開をすることは民間企業にとっては社会貢献に関わるPRが可能となり、事業所にとっては精度の高い製品開発や販路の拡大につながられるという双方に大きなメリットが生じる。

ウェブサイト**ふくワザ**を活用し、障がい福祉サービス事業所と企業側の双方に連携事例などを伝えて、PR効果を含めたメリットがあることを周知を図ってい

たい。事業者と企業の連携を促進し、福祉事業所の商品力の向上を図りながら、新たな事業展開ができるように努めてまいりたい。

重度訪問介護等における移動支援に関して

さとう:障がい福祉サービスの一つである**重度訪問介護等における移動支援**に関しては、従来、通勤営業活動等の経済活動に関わる外出は対象外とされてきたが、国は**重度障がい者等勤労支援特別事業**を創設し、令和2年度以降は自治体の判断で**重度障がい者が働く場合などにおいて、通勤や職場などにおける介助への支援が盛り込まれること**となっている。

大阪市や堺市では、既に導入されており、勤労意欲のある重度障がい者の方の選択肢を増やすためには、神戸市でも導入を検討すべきと考えるが、如何か。

小林福祉局副局長:障がい者の就労支援策については、従前より福祉施策と労働施策の連携を進めながら対応してきたが、特に通勤や職場等における支援は十分に対応できていないという状況だった。

この制度のはざまに対応するため、委員おっしゃっていたように、国は令和2年度から、通勤や職場等における支援に取り組む意欲的な企業や自治体を支援するため、雇用施策と福祉施策が連携した取組を行うことになっている。**さいたま市では、既に本事業実施しており、大阪市、堺市についても先に独自の支援策を経て、令和3年から本事業に移行する予定と聞いている。本市においても、先行自治体の状況を参考にしながら、これらの課題をどう整理していくか検討していきたい。**

さとう:障がいをお持ちの方にとって、**経済活動と福祉サービスというものは切り離せるものではない。**スピーディーに御検討をお願いしたい。

視覚障がい者に対する同行支援について

さとう:視覚障がい者になった方々が日常生活を送るには、同行援護従事者、視覚障がい者ガイドヘルパーによる支援が必要となる 경우가多々ある。その資格は、研修で取得するものだが、実際の視覚障がい者の方からは、ヘルパーの中には、なかなか視覚障がい者の特徴を把握できず、間違った対応から事故となった例を多数お聞きしている。また、視覚障がい者になったことで外出しづらくなり、ひきこもる方も多いと聞いている。

ヘルパーの数及び質の確保について、現状をどのように捉え、今後どのように取り組んでいくのか。

小林福祉局副局長:同行援護は、視覚障がい者の方の外出時における介護を行うもので、市内で現在約900名の方が支給決定を受けている。指定事業所が179か所、推計で約450名のヘルパーが在籍し、現在のところ、ヘルパーが見つからなくてサービスを受けられないという声はない。ただ、研修受講のみ

で従事されているヘルパーの方もいるので、視覚障がい者の方の特性を十分に理解しておらず、**不十分な対応を行っているという事例があることも本市として把握している。**研修内容を充実させるというようなことを県に対しても要望している。研修の充実と事業所の指導を行うということによって**ヘルパーの質を向上させて視覚障がい者が安心してサービスを利用していただけよう今後も努めてまいりたい。**



LGBTQの方を対象とした相談窓口について

さとう:令和3年3月に策定される神戸2025ビジョンについての素案を見ると、LGBTQなどに対する市民意識の向上を図るとの記載があるが、神戸市においてはこれまでLGBTQの理解促進や支援の取組があまり進んでいないと感じている。

LGBTQの方の中には、いわれなき差別を受けたり、それを誰にも相談できずに苦しんでいる方が多くいる。神戸市にはそういった当事者の声がきちんと届いているのか。例えば、LGBTQの方の専用の相談窓口を設けるなど**LGBTQの方の声を拾う仕組みづくりに取り組むべきだ**と考えるが、如何か。

山田福祉局担当部長:LGBTQの方の相談窓口について、本市では、**性別や性的嗜好にかかわらず、その人自身が自分らしく生きていくための権利が尊重されるよ**

性の多様性についての正しい知識を広め、差別や偏見をなくすための啓発を実施している。

LGBTQの方、御家族の方からの本市への相談状況は、平成29年度2件、平成30年度6件、令和元年度4件、令和2年度3月1日現在1件という状況でございます。私どもとしては、LGBTQの方など、様々な方の御意見を尊重するという事は非常に大事な課題であると考えているので、当事者の声が十分に届いていないということなら、LGBTQの方の声を拾う仕組みとしてどのような形がふさわしいのか、検討させていただきたい。

さとう：将来的には、そういった壁や区別なく、それが当たり前という世界を目指すべきだと思う。そういうことをなくす前のステップとして、理解を深めるということは非常に大切だが、**聞こえない声を聞くという姿勢が民間でなく、市が聞いていくという姿勢が非常に大事だと思う。**

今まで性自認少数の方は、偏見とか差別を個々の方々が感じていたから、ひとからげの相談窓口というのは、ハードルを感じて相談もされないのではないかなと思う。当事者の方々に窓口を受けていただいて、親身になってお話を聞いていただけるというような体制を整えれば、分かってくるから電話しようという気になると思う。人口の10%ぐらいの方はそういった性自認をお持ちなのに、**それしか(現在1件という状況)声が上がってないというのは、生活に困ってないから声が上がらないということではないと思う。特化した窓口を作っていただくよう要望する。**

パートナーシップ制度創設について

さとう：これは**多様化を認めるという現代社会において必須**だと思うが、神戸市としてどう考えておられるのか、お聞かせいただきたい。

山田福祉局担当部長：まずは、LGBTQの方の声をどのように拾うのかということ具体的に検討させていただきたい。

さとう：前進的な他都市を見ながらでもいいので、その辺りしっかりとやっていただきたい。

(返答がなかったのもう一度)そして、パートナーシップ制度に関して、今どういうふうになっているのか、神戸市の考えとしてもお聞かせいただきたい。

山田福祉局担当部長：繰り返しになるが、性別が性的志向にかかわらず、その人自身が自分らしく生きていくための権利が尊重されなければならないということの基本にし、差別や偏見をなくすための啓発を今、実施している。

他都市の取組状況も参考にしながら、世界に開かれた多様性のあるまちとしてLGBTQなどに対する市民意識の向上を図っていくということでございますので、御理解いただきたい。

さとう：その問題とパートナーシップ制度の創設というのは、またちょっと別。それはそれで意見を聞いていただき、実際問題として、少数派でいらっしゃる方への対策として。

いろんな他都市でも随分パートナーシップ制度の創設はされている。

渋谷区の男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例の前文を少し読ませていただく。

「日本国憲法に定める個人の尊重及び法の下の平等の理念に基づき、**性別、人種、年齢や障がいの有無などにより差別されることなく、人が人として尊重され、誰もが自分の能力を生かして、生き生きと生きることが出来る差別のない社会を実現することは、私たち区民共通の願いである**」と、ありますが、神戸市的にはどう思われるのか。

山田福祉局担当部長：私も全く同感でございます。

さとう：みなさん、これ当たり前のことだと思われると思う。だけど、今のままで、パートナーシップ制度の創設ということのお答えがいただけないということは、このまま神戸市、この条例の文を引用すると、**神戸市は性別、人種、年齢や障がいの有無などにより差別をし、人が人として尊敬(尊重)されていないということになる。**是非、パートナーシップへの前向きな取組をお願いする。



危機管理室、消防局への質疑(一部)

以前、街頭で、「日本の避難所はスフィア基準も満たしてなく、このままじゃ、ダメなんです！」と訴えさせていただいていたのを覚えているという方もいらっしゃるかもしれません。今回の質疑において、危機管理室、消防局、防災コミュニティを含め、女性が非常に少なく、それゆえに、問題点すら抽出されていないと感じました。最後に、イタリアの避難所をご紹介して質疑を終わりました。

<イタリアでは災害後、数時間で車椅子仕様の綺麗で広いトイレ、簡易ベッド(1週間で通常のベッドとなる)、1,000人分の暖かい食事が作れるキッチンカーが到着します。簡易の診療所、産婦人科、小児科、歯科、子どもたちのPTSD予防のための心理療法士を配備。簡単な手術も出来るそうです。>

現在の日本の避難所は、暗い、不清潔、寒い、そこからの犯罪の温床という悪循環を断ち切れずにいます。イタリアでも出来ている事、経済大国日本なら目指して欲しいものですね。引き続き取り組んでまいります。

環境局の質疑は載せきれませんでしたので、詳細は次回の市政報告にて、お楽しみに。

今回、環境局については、

- ・温室効果ガスの削減に向けた市民の行動を促す仕組み。
- ・プラスチックごみの削減に向けた民間事業者との連携と市民へのインセンティブ付与。
- ・農協と連携した食品ロス削減。
- ・路上喫煙禁止地区の拡大とばい捨て防止重点区域での過料徴収。

などについて質疑をしています。

令和2年福祉環境委員会

こんな質疑もしていました。【過去の記事より】

2020.8.24

さとう：涼しくなってきたから来ると言われていた第2波が来た。第3波が来るということも想定される。感染者がさらに増えた場合を想定して今から十分な準備は進められているのか、前倒しで保健師の採用を進められているが、人員の確保は十分と考えられているのか。

花田健康局長：保健師の採用については、40名増員、9月から順次採用を進めていくので、保健師の体制は増強されていく。次の波に対して今考えられることは全てやれているというふう考えている。

2020.9.24

さとう：(コロナ禍)認知症への支援策、ネットを使って遠隔で出来ないか、検討していただきたい。

2020.10.22

さとう：このたび垂水養護学校垂水体育館用地に、産科と小児科救急を含む急性期医療を担う中核的医療機関に、市内に許可病床を持つ医療機関として医療法人沖繩徳洲会病院神戸徳洲会病院が決定され、垂水の住人として非常に期待をしている。令和7年2月の開設予定だが、地域の中核病院としてかかりつけ医である地域の開業医、クリニックの先生方、福祉関連事業所の方々と連携の構築が今以上に大切になってくると思う。徳洲会には、良質な医療提供を期待するが、神戸市は徳洲会との40年間の賃貸借契約の中で

特に強く要望していることは何か。

熊谷健康局副局長：神戸徳洲会病院が区内の医療機関の先生方と連携をして医療提供体制の充実が図れるように我々としても事業計画の達成状況をきっちりチェックしていきたい。

さとう：地域の診療所にとっては近場に頼れる病院ができるということで、地域との信頼、連携が非常に大事になっていくと思う。契約締結の最初が肝心。引き続き注視してまいります。

2021.2.19

さとう：神戸市にひきこもり支援の体制ができて1年ほどとなる。進捗、検証、課題などについて伺う。

松原福祉局担当部長：令和2年2月3日に開設、1月31日までの1年間で相談人数は486人、相談件数は1,664件。相談者の年代別の状況は、10代の方1割程度、30代・25%で20代・22%。本当様々な問題があるので、優先して解決すべき問題を1つ1つ行っている。

※ひきこもり問題は非常に繊細で深刻です。原因を集め、それを生かせるような取り組みなど、引き続き注視してまいります。

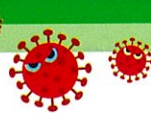
●神戸市議会録画→インターネット中継→委員会→録画映像の検索で、〈さとう〉と入力して頂くと、映像もご覧いただけます。

<http://www.kensakusystem.jp/kobeshikai-committee/search/index.html>



お知らせ

新型コロナウイルス感染症について



新型コロナワクチン接種について

毎年行われているインフルエンザワクチン接種による発症予防効果は50%程度と言われておりますが、**新型コロナウイルスワクチン接種による発症予防効果は約95%**と報告されています。このワクチンを受けていただくことにより、新型コロナウイルスに感染しても、発症や、重症化を防ぐ事ができます。それにより、医療ひっ迫を防ぐ事にもなり、通常医療の正常化を図ることになり、世の中の新型コロナウイルスの感染拡大を抑える事ができます。

アナフィラキシーショックが懸念されていますが、神戸市ではこういった事態に備え、エピペン(アドレナリン注射)を配備する他、各種医療機関への連携をしながら万全の備えを整えております。

第一便のワクチンは、ファイザー製ワクチン(期間を空けて二度接種)で、現在は医療従事者への接種が行われています。(ワクチン接種は強制ではなく、任意です。)

神戸大学中和抗体医薬品開発への支援について

昨年12月、兵庫県は、神戸大学感染症センターの森康子教授のチームが行う新型コロナウイルス感染症治療に有効な中和抗体医薬の開発へ、6千万円の支援を行うと発表しました。一方、神戸市および、神戸医療産業都市推進機構も、1千万円の支援を行うこととなりました。現在、コロナ治療薬については、中等症以上でレムデシビルが承認されているだけで、イベルメクチン、フサンといった有力候補の薬の承認が遅れており、コロナ治療薬としての正式な承認には至っておりません。その中で、中和抗体薬の開発は、大きく期待されています。この神戸大学の中和抗体薬開発に関し、早期に研究開発の成果が上がるよう、県市協調しながら取り組みを進め、神戸発の新型コロナウイルス感染症の治療薬の開発が成功すれば、神戸医療産業都市のプレゼンス[※]を高める絶好の機会となります。

※プレゼンス(Presence):「存在すること」「存在感」

現在、発熱等の風邪の症状があった場合

かかりつけ医等に電話連絡(直接訪問はしない)をしていただき、予約が取れた医院を訪問、医師の判断で抗原検査(またはPCR検査)となります。

症状はないが、PCR検査を受けたい場合

格安の神戸花隈高架下に
**PCR検査センターが
オープンしました!**



検査試薬:国産タカラバイオ製
営業時間:10:00~17:30(年中無休)



ホームページから予約▶サービスを選ぶ▶日付を選択▶個人情報入力後、Paypalによる事前決済(5,000円)、もしくは現金払い(当日現金払いは6,000円・税込)。その支払済画面のスクリーンショットか、コピーを係員に提示します。所要時間は5~6分程度。翌日から2日で結果が出ます。陽性の場合、電話とメールで結果のお知らせが来ることとなっております。こんな所に?という場所にあります。中に入る事なく、全て屋外でのやりとりとなりますので、心配はありません。

※前の道路の駐車は出来ませんので、お近くの駐車場をご利用いただくか、公共交通でお出かけください。

場所:神戸市中央区元町高架通2-232
(JR元町駅から徒歩7分、花隈駅からすぐ)

神戸PCRサテライト



<https://setolabo.jp/kobe/>

ワクチンに関するお問い合わせ

神戸市では、4月以降に、ワクチン接種券の送付が始まります。最初は65歳以上の方々、その後に基礎疾患のあるの方々、その次は、60~64歳の方々となり、一般の方々への接種は9月頃と言われています。集団接種会場(垂水区は垂水区文化センター)と、開業医などの個別接種は同時に行われる予定です。

ワクチンに関するお問い合わせは、
(ワクチンのスケジュール・接種手続き・接種券の送付)

必ず、**新型コロナワクチン接種コールセンター**

☎078-277-3320

へ、お願いいたします。

受付時間:平日8時30分~20時00分(土日祝 8時30分~17時30分)
Mail: pwd-vaccine-kobecity@persol.co.jp

混雑を避けるため、神戸市では徹底したスケジュール管理をいたします。

※各病院へのお問い合わせはご遠慮ください。

アイソレーター導入が決まりました!

我が会派、高橋としえ議員の要望により、令和3年度予算で救急車にアイソレーターを導入することとなりました。

※アイソレーター:救急車搬送時の患者を運ぶ密閉式カプセルで、これにより同乗者や、救急隊員への感染の危険がなく、安全な状態で傷病者を搬送する事が可能となります。



さとうまちこ 事務所

〒655-0872 神戸市垂水区塩屋町1丁目3-11

☎ 080 2420 8727

<https://www.satomachi.info/>

✉ satomachikobe10@gmail.com



外海開三 市政報告会開催中止のお知らせ

拝啓 清和の候、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、まんえん防止等重点措置が適用となりました。この状況を鑑み、感染拡大防止の観点から、四月二十四日に開催を予定しておりました市政報告会を、誠に残念ではございますが開催中止とさせていただきますと致しました。ご出席でお返事を頂戴していた方、また、ご出席をご検討いただいていた方には、ご迷惑をおかけする事となりまして、大変申し訳ございませんがご理解賜れば幸いです。

今後状況が改善次第、改めて市政報告会開催のご案内をお送りさせていただきますので、その節はご出席賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

最後に、先の見通しがつき辛い状況が続きますが、くれぐれもご自愛くださいませ。

敬具

令和三年四月十二日

神戸市会議員 外海 開三